



平成30年度
第1回 豊田市自転車利用環境整備推進会議

～とよた快適自転車プランの評価～

平成30年10月3日（水）



1. とよた快適自転車プランの計画目標
2. とよた快適自転車プランの評価



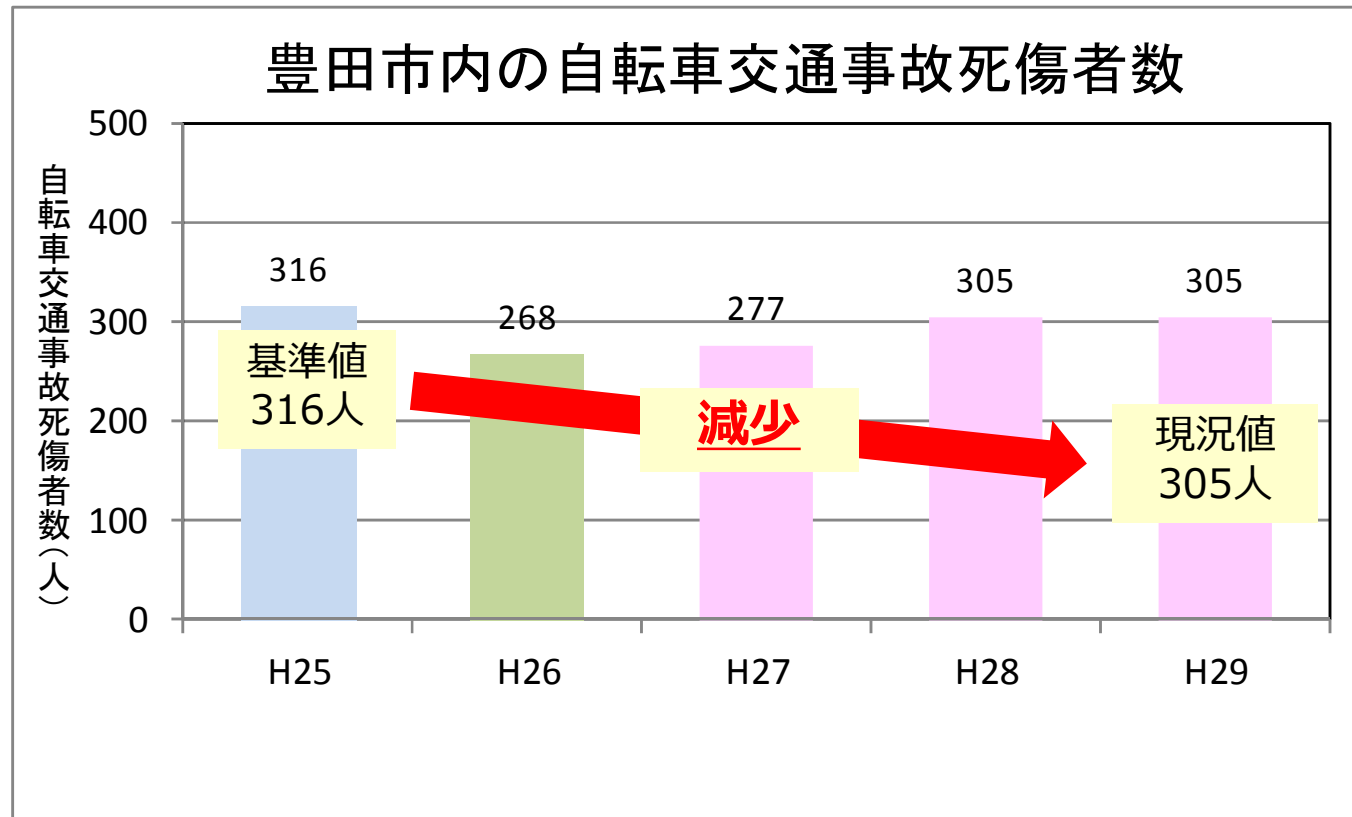
○とよた快適自転車プランでは以下の3つの目標指標を設定し計画を推進。
3つの目標指標について評価を実施。

	とよた快適自転車プランでの目標指標	今回の評価方法
目標指標①	自転車の交通事故死傷者数を 約1割削減 【基準値：平成25年 316人】 ※「とよたの交通事故」より	自転車の交通事故死傷者数を評価
目標指標②	「歩行者・自転車利用者が安全で快適 に移動できる道路が整っているまち」 として満足している市民の割合を向上 【基準値：平成23年 19.1%】 ※豊田市が行う市民意識アンケート調査結果より	「歩行者・自転車が安全で快適 に移動できる道路が整っている まち」として満足している市民の 割合を評価
目標指標③	自転車の利用者割合（分担率）を向上 【基準値：平成22年 8.9%】 ※国勢調査結果より	次回国勢調査は、2020年であり、 現時点では算出困難のため、 別途アンケート調査を実施し、 自転車の利用機会の増加の有無を 評価



(1) 目標指標①自転車の交通事故死傷者数

○豊田市での自転車交通事故死傷数は、基準値（H25）からは減少。
しかし、目標の1割削減は達成出来ていないため、引き続き経過観察を実施。



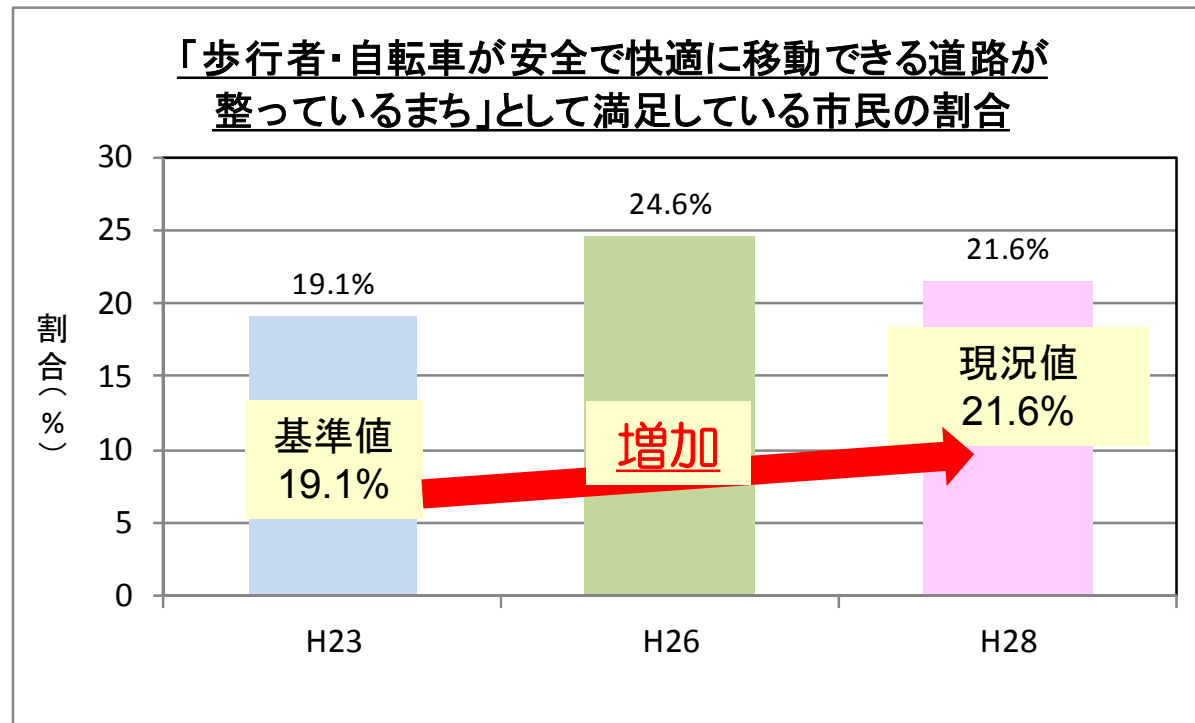
※「とよたの交通事故」の当事者別発生状況（死傷者数）のうち【自転車】の死傷者数

自転車交通事故死傷者は、基準値に比べ削減は図られたものの経過観察が必要



(2)目標指標②満足している市民の割合

- 「歩行者・自転車が安全で快適に移動できる道路が整っているまち」として満足度が向上。



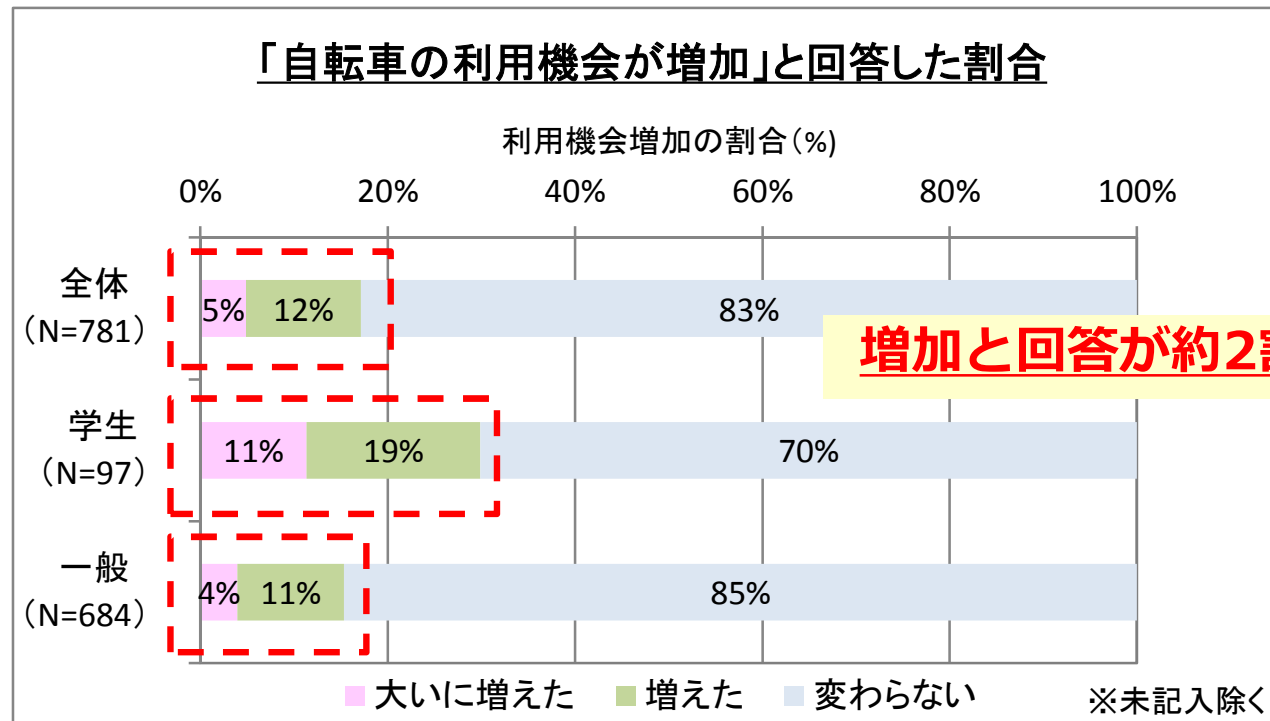
※豊田市が市民意識調査結果の設問「歩行者・自転車利用者が安全で快適に移動できる道路が整っているまち」において、「1. 満足していない」～「7. 満足している」の7段階の満足で、「4. どちらともいえない」を超える5～7を回答した市民の割合。但し、無回答を除く。

とよた快適自転車プランの推進により安全性・快適性に関し一定の効果



(3) 目標指標③ 自転車の利用機会の増加

- 自転車の利用機会は、全体で約2割が増えたと回答。
- 特に、学生は利用機会が増えたと回答した方が多く約3割である。



※出典 各道路利用者へのアンケート調査

**とよた快適自転車プランの推進により自転車の利用機会の増加に関し一定の効果
しかし、2020年の国勢調査の結果をふまえ、改めて評価が必要**



(4) 評価の結果

	今回の評価方法	評価結果
目標指標①	自転車の交通事故死傷者数を評価	削減 ※目標の1割削減は未達成
目標指標②	「歩行者・自転車が安全で快適に移動できる道路が整っているまち」として満足している市民の割合を評価	満足の割合が向上
目標指標③	別途アンケート調査を実施し、自転車の利用機会の増加の有無を評価	約2割の利用者が利用機会が増加と評価 ※次回国勢調査結果をふまえ評価が必要

とよた快適自転車プランの推進により、安全性・快適性・利便性ともに一定の効果



1. とよた快適自転車プランの評価

- ・計画の目標指標の評価では、安全性・快適性・利便性に一定の効果。

2. 各施策の今後の方策

①空間づくり

- ・意識づくりとの連携による自転車通行空間の通行ルール周知と安全性、快適性のPR
- ・更なる自転車事故削減、利用促進に向けた自転車通行空間整備

②意識づくり

- ・自転車利用者への自転車安全利用講習の充実、印象に残りやすい講習体系の導入検討
- ・「自転車安全利用5則」の普及強化

③仕組みづくり

- ・産官学共働での活動における自転車利用促進
- ・大規模イベント時における自転車利用のPR
- ・自転車駐輪場の適切な案内、放置禁止区域等の周知徹底

引き続き、各施策の取組を強化するとともに、横の連携を図り、安全で快適な自転車利用環境創出を推進